

山室民子 やまむろ 評論家、歌人。明治二十二年九月十八日東京生れ、
昭和五十六年十一月十四日没（一九〇一八二）。本名はみ。筆名は澁澤たみ
子。山室軍平の長女、母は機恵子。大正十三年東京女子大學英語専攻
科卒。アメリカ、イギリス留學後日本救世軍本營附となり、布教と社
會事業に従事。戦後は女性初の文部省視學官として社會教育司勤務。
のち軍本營に戻り、機關誌『救世軍』編輯長を務める。短歌は今井卯
子の師事。

著譯書に『わが母を語る』（合著・家庭新聞社編輯局）『新妻伊都子編、
昭和十六年十一月、二白家庭新聞社出版部』、『パンと魚』（昭和二十
二年十一月五日吉成書房）、『ハロルド・E・ジョウウンズ他著』『性教育
のあたえかた』（村岡花子・定方龜代共譯、昭和二十五年一月一日社
會教育連合會編）『純潔教育シリーズ』（『新時代と女性』（昭和二十
七年一月十五日金子書房）『教育又産』（レスタター・F・ベック著
『人間の成長』（譯、昭和二十七年二月二十日鱈書房）、『売春』（合
著・有泉 亨、團藤重光 編、昭和二十年十月二十日河出書房）『法学新書』（『母
を語る』（合著、昭和二十六年十一月、二十五日日本基督教團出版部
『女性と生活シリーズ』）等。

